

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-1-7	事務事業名 都市計画道路整備事業(西3・4・11号線)	所管部課 都市整備部都市計画課					
事務事業の概要	事務事業の目的 本路線は、事業中の調布保谷線と整備済み区間の西東京都市計画道路3・4・16号線とのネットワークを結び、多摩南部地域と区部とのアクセスの向上を図り、西東京市周辺交通の円滑化を促進する。	総合計画上の位置づけ (政策)快適な日常生活のために (施策)道路・交通の整備(安1-2) (主要施策)都市計画道路の整備					
	実施内容、実施方法 本路線は、延長770m・面積12,320㎡の道路整備を予定しており、今年度は、780㎡の用地買収を予定。	根拠法令等 「みちづくり・まちづくりパートナー事業」に関する東京都との基本協定及び用地取得委託協定					
	事業開始時期 平成12年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他(東京都の受託事業)					
評価指標の設定	活動指標名 用地買収面積	活動指標の考え方(定義) 当該年度の用地買収面積(780㎡)					
	道路完成延長	当該年度の道路完成延長(0m)					
	成果指標名 路線全体の事業費による完成率	成果指標の考え方(定義) 過年度の事業費計と全体事業費の割合(%)					
	路線全体の完成延長による完成	過年度の完成延長と計画延長の割合(%)					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		170,909	491,415	608,940	734,150	
	国庫支出金	千円					
	都支出金		146,409	461,988	585,992	676,500	
	地方債						
	その他						
	一般財源	24,500	29,427	22,948	57,650		
	所要人員(B)	人	1.5	1.5	1.5	1.5	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	12,369	12,410	12,492	12,492	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	183,278	503,825	621,432	746,642	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(用地買収面積)	千円	1,041.35	664.68	413.46		
	歳入	千円	146,409	461,988	585,992	676,500	
	活動指標	目標値	㎡			780	1,097
		実績値	㎡	176	758	1,503	
活動指標	目標値	m			0	0	
	実績値	m	0	0	0		
成果指標	目標値	%			32	48	
	実績値	%	16	25	35		
成果指標	目標値	%			0	0	
	実績値	%	0	0	0		
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	当該道路に接続する路線として西東京都市計画道路3・2・6号線を東京都にて整備を進めている。					
	運営上の制約条件・ 外部要因等	東京都の受託事業					

コード 8-1-7	事務事業名 都市計画道路整備事業(西3・4・11号線)	所管部課 都市整備部都市計画課
--------------	--------------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	西東京都市計画道路3・4・13号線の用地買収予定地の一部が平成16年度中の買収が困難となったため当該路線に振替たことにより、用地買収面積が723㎡増となった。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	西東京市保谷庁舎及びスポーツセンター、こもれびホールなど市の公共施設に直接アクセスする東西の幹線道路であり、早期完成のためにも用地買収を着実に進める必要がある。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	用地交渉等を効率的に進めるため、スケジュール調整を定期的に行った。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	用地買収などの土地価格や物件補償については、財産価格審議会や東京都の基準表をもとに算出している。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	本路線は、東京都の受託事業により整備を進めており、東京都との執行調整を行いながら効果的に事務を進めている。

17年度における改善点	今後の道路築造に先駆けた関連企業との調整を綿密に行い、スムーズな事務執行を図る。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。